

2003～2007年 プレジャーボート海難の分析



第三管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室

2008年1月

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/03kanku/04sankanakukatudou/marinreja.htm>

(注) 2007年(平成19年)のデータは速報値です。

分析メニュー

プレジャーボート海難の全体把握

- ・ モーターボートの海難
- ・ ヨットの海難
- ・ 水上オートバイの海難

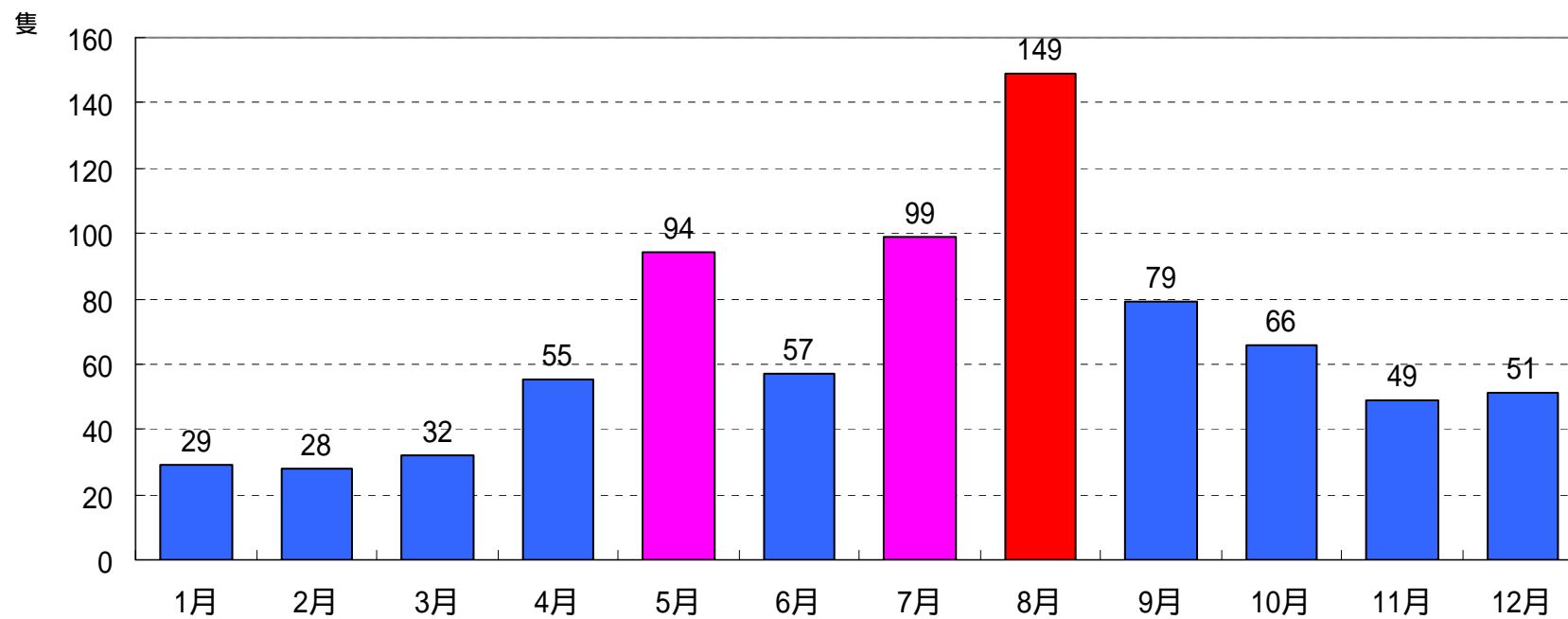
プレジャーボート海難のまとめ

プレジャーボート海難の全体把握

- ・ 月別海難発生状況
- ・ 曜日別海難発生状況
- ・ 海域別海難発生状況
- ・ 船種別海難発生状況

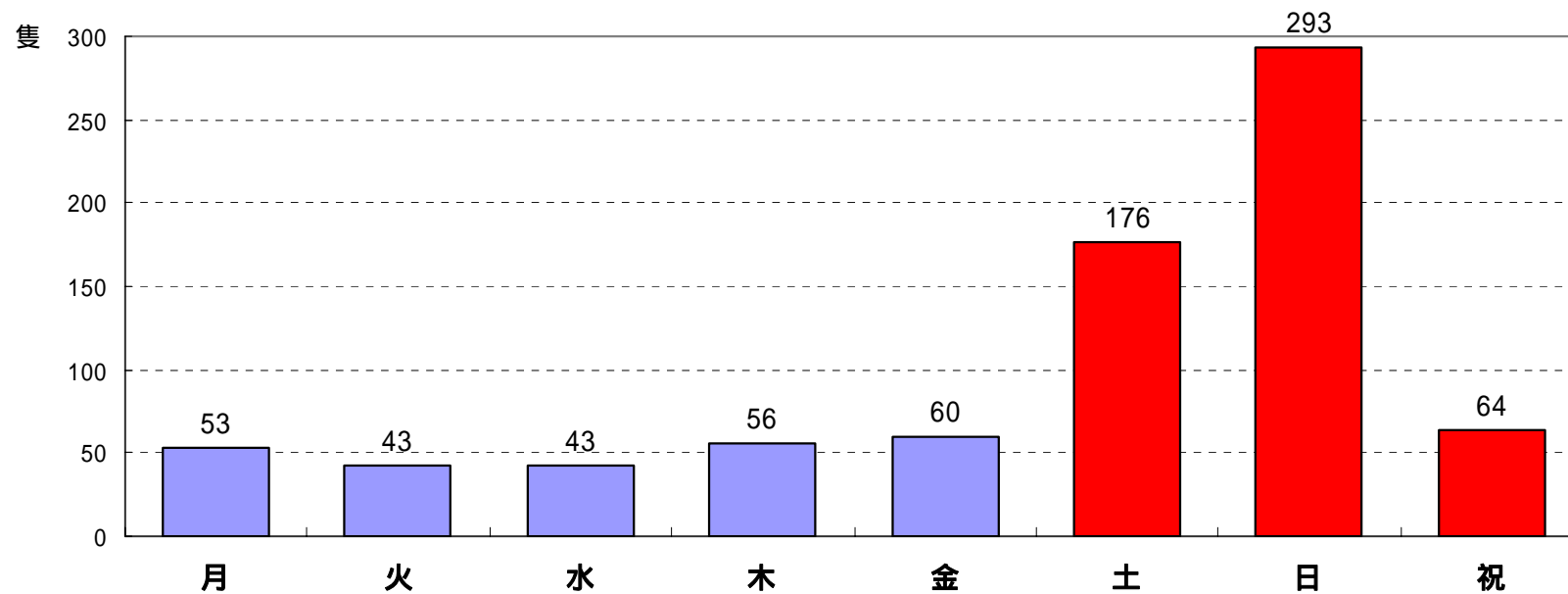
プレジャーボート 月別海難発生状況

ゴールデンウィークがある5月と7月、8月に多く発生しています。

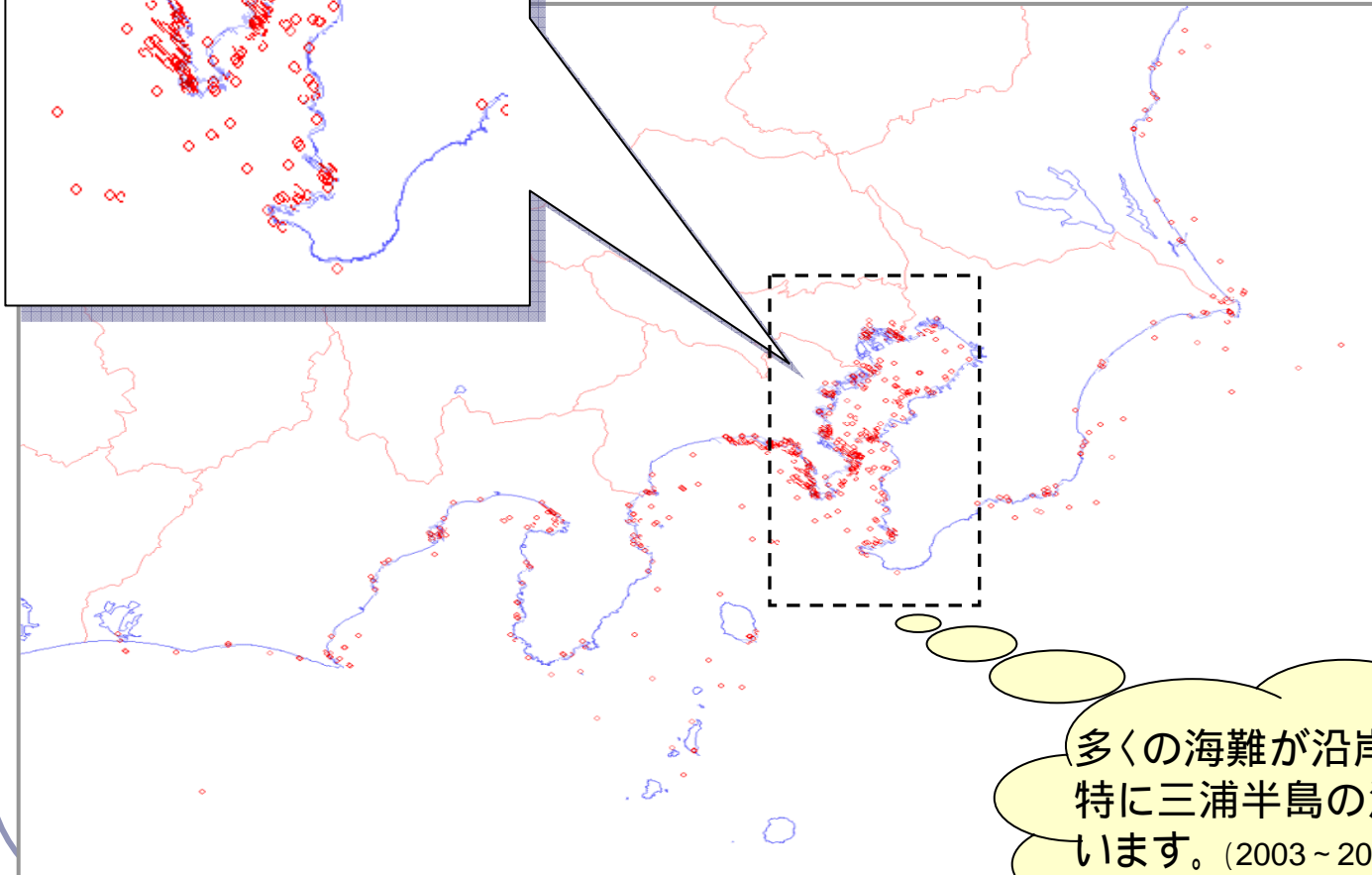
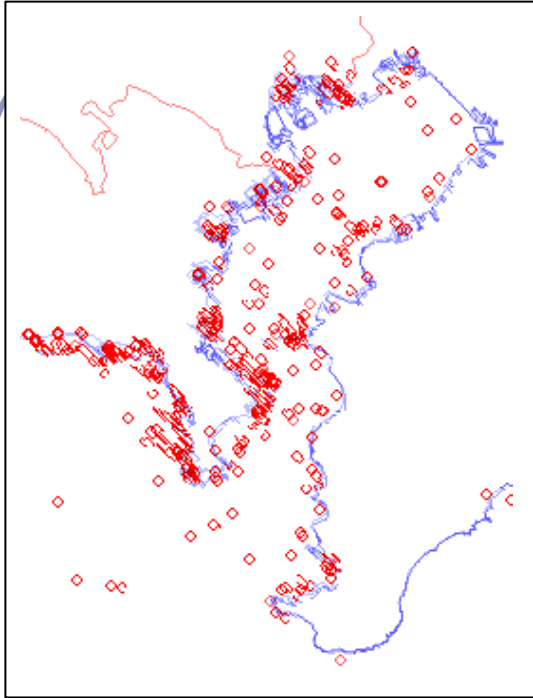


プレジャーボート 曜日別海難発生状況

土曜日、日曜日や祝日
に多く発生しています。

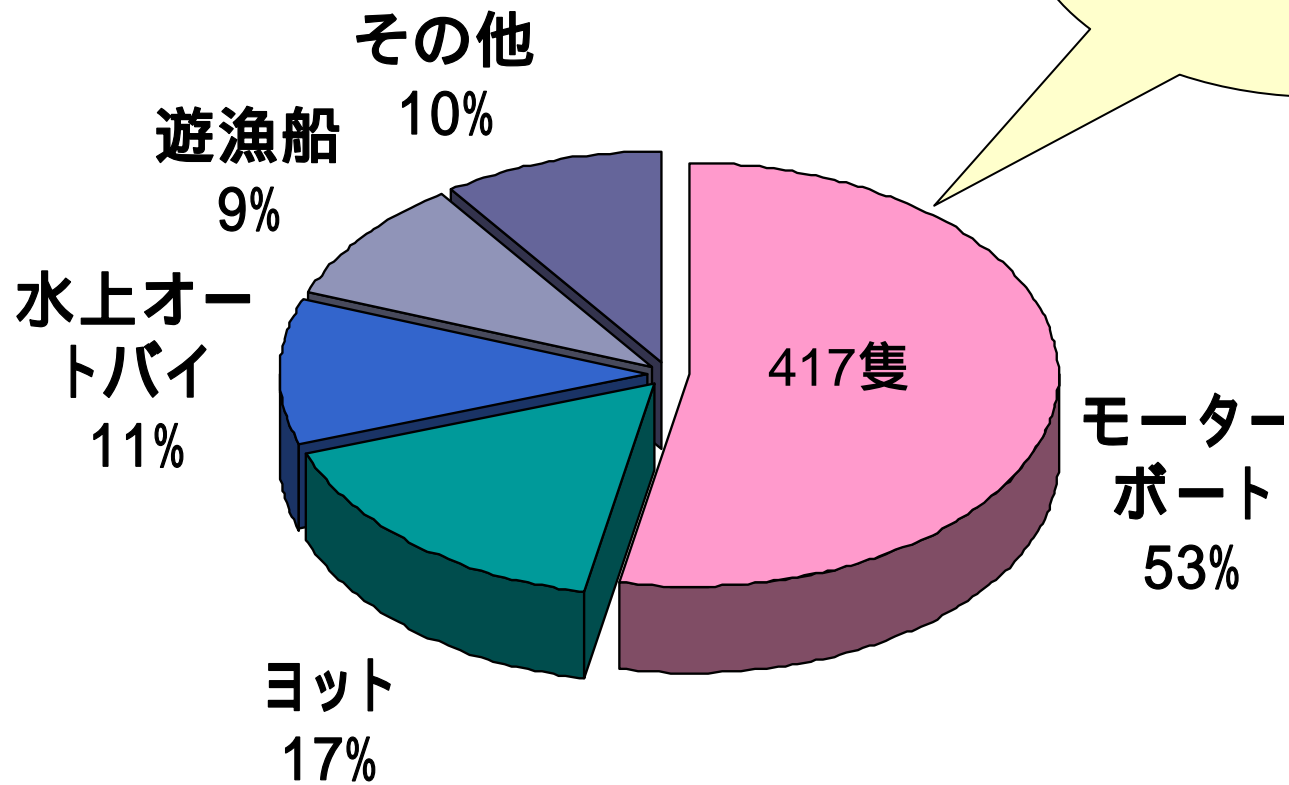


プレジャーボート 海域別海難発生状況



多くの海難が沿岸域で発生しています。
特に三浦半島の沿岸で多く発生して
います。(2003～2007年の5年間)

プレジャーボート 船種別海難発生状況



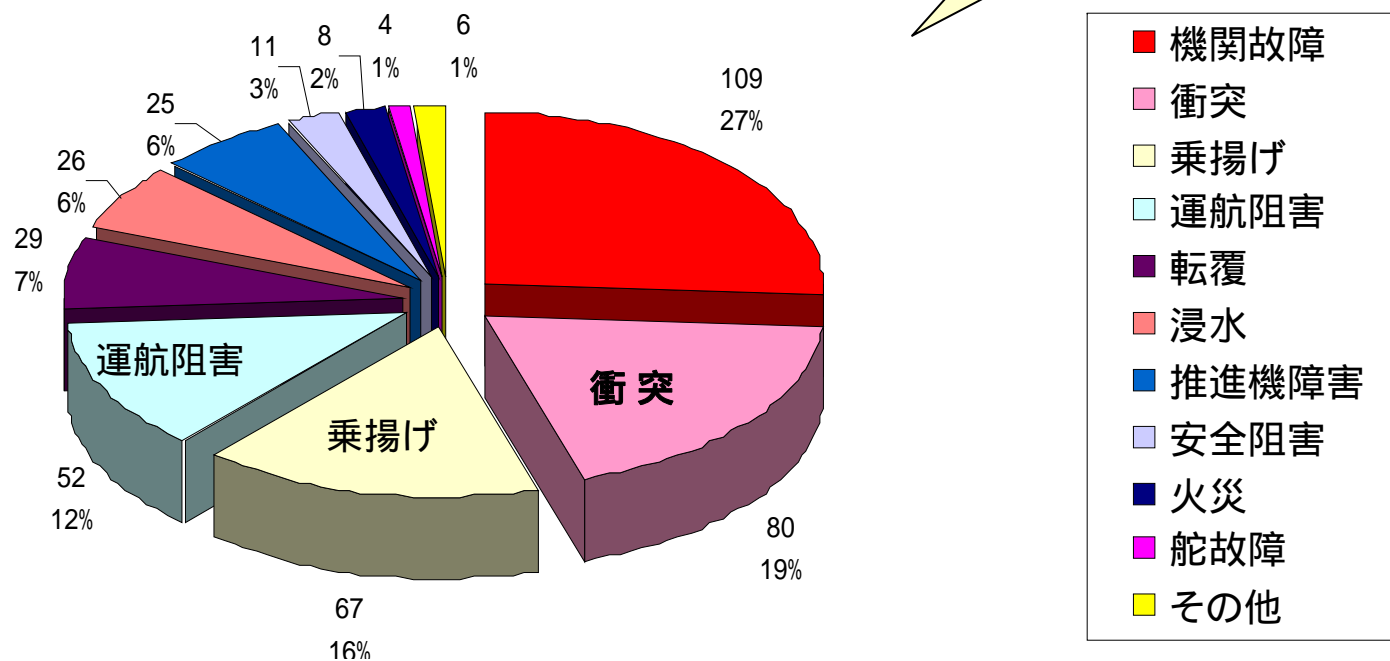
船の種類別では、「モーターボート」が半数以上を占めています。

モーターボートの海難について

- ・ 海難種類別発生状況
- ・ 機関故障の原因
- ・ 衝突の原因
- ・ 乗揚げの原因
- ・ 運航阻害の原因
- ・ モーターボート海難のまとめ

モーターボート 海難種類別発生状況

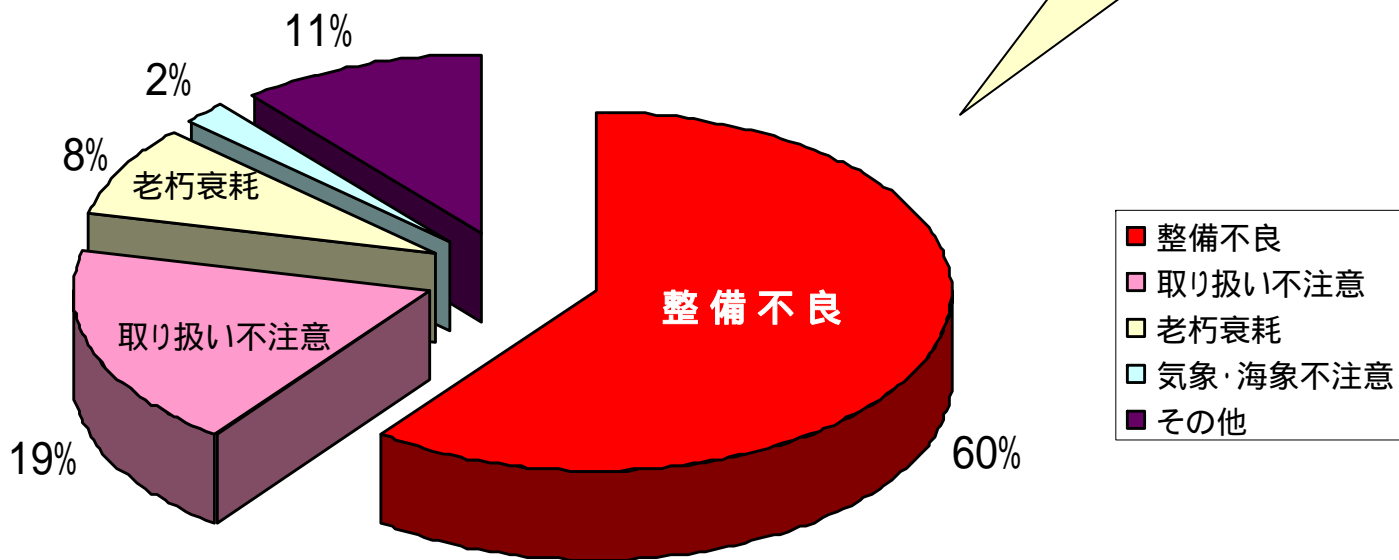
機関故障、衝突、乗揚げ、
運航障害の海難が突出
して多く発生しています。



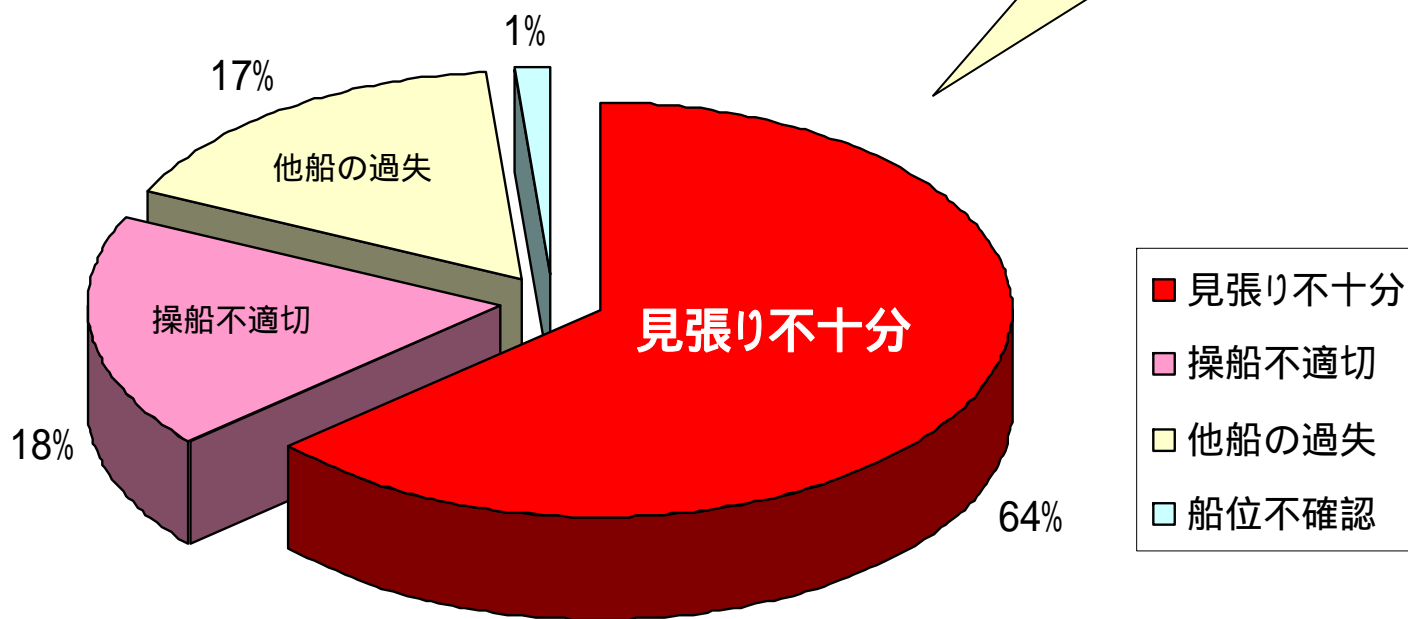
「運航障害」とは、バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流をいいます。
「安全障害」とは、転覆に至らない船体傾斜、走錨及び荒天難航をいいます。

モーターボート 機関故障の原因

整備不良が圧倒的に多くを占めています。

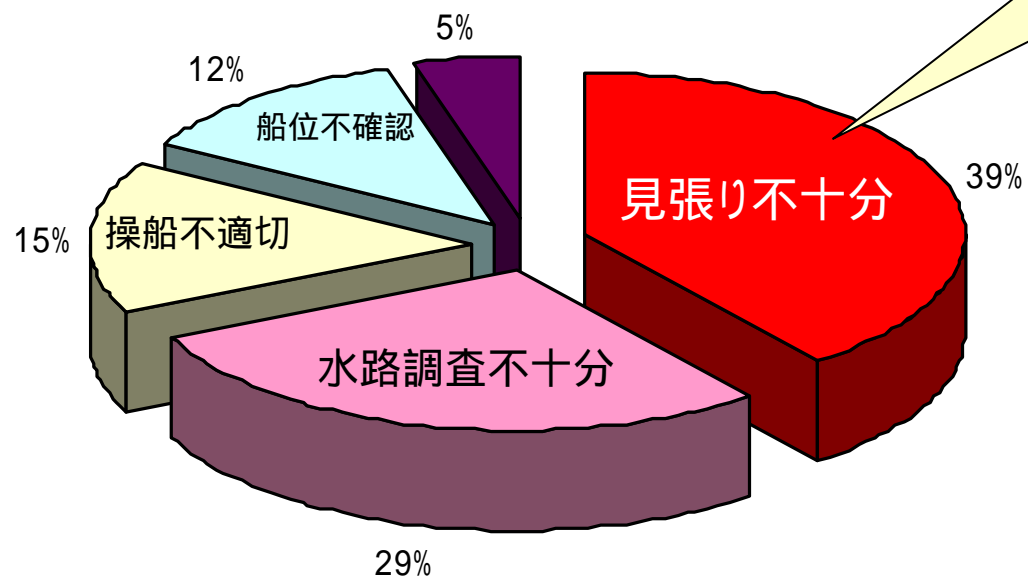


モーターボート 衝突の原因



半数以上が
“見張り不十分が原因”
で発生しています。

モーターボート 乗揚げの原因

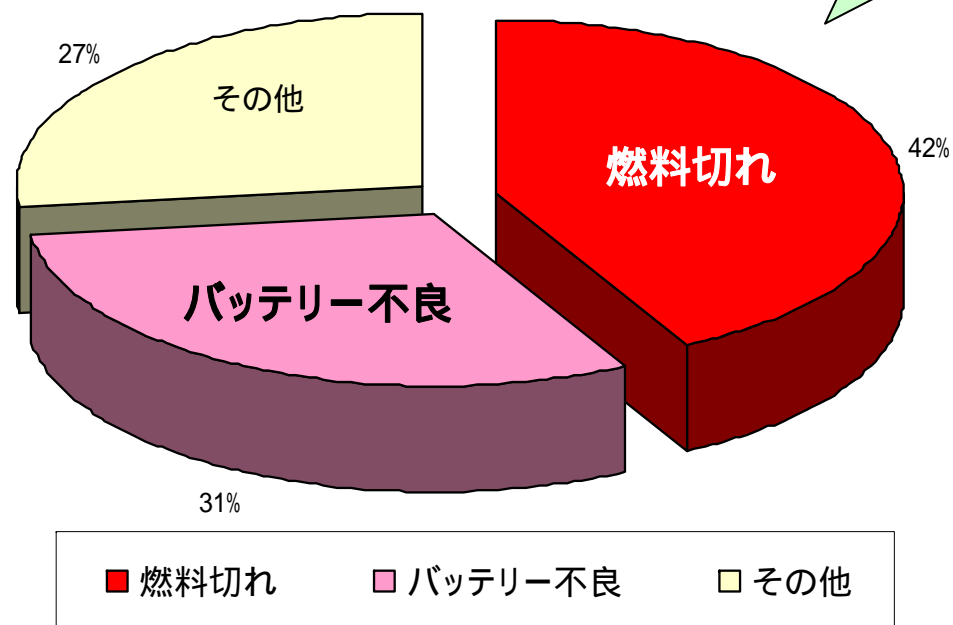


“見張り不十分”を原因とする乗揚げ海難が多く発生しています。

- 見張り不十分
- 水路調査不十分
- 操船不適切
- 船位不確認
- 気象・海象不注意

モーターボート 運航阻害の原因

7割以上が“燃料切れ”、
“バッテリー不良”が原因
となっています。



「運航阻害」とは、バッテリー過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失及び無人漂流をいいます。

モーターボート海難のまとめ

- 基本的な点検・整備を実施していないことによる「機関故障・運航阻害」が多発
- 見張り不十分による「衝突、乗揚げ」が多発

燃料の確認、バッテリーチェック、ストレーナーの点検等の「運航前点検」で海難は減らせるんだね！！

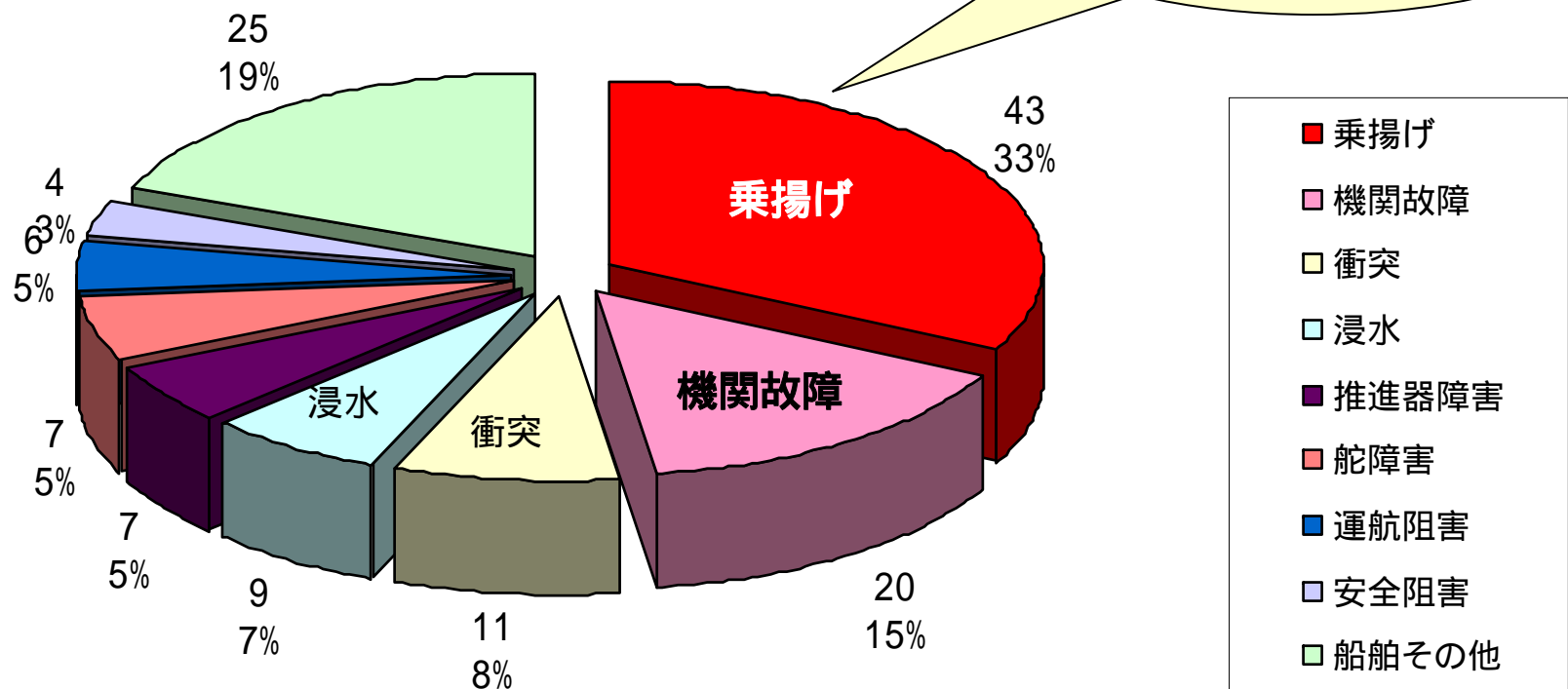
いつも周りに注意を払っていないと、船が近づいてきてもよけられないよね

ヨットの海難について

- ・ 海難種類別発生状況
- ・ 乗揚げの原因
- ・ 衝突の原因
- ・ ヨット海難のまとめ

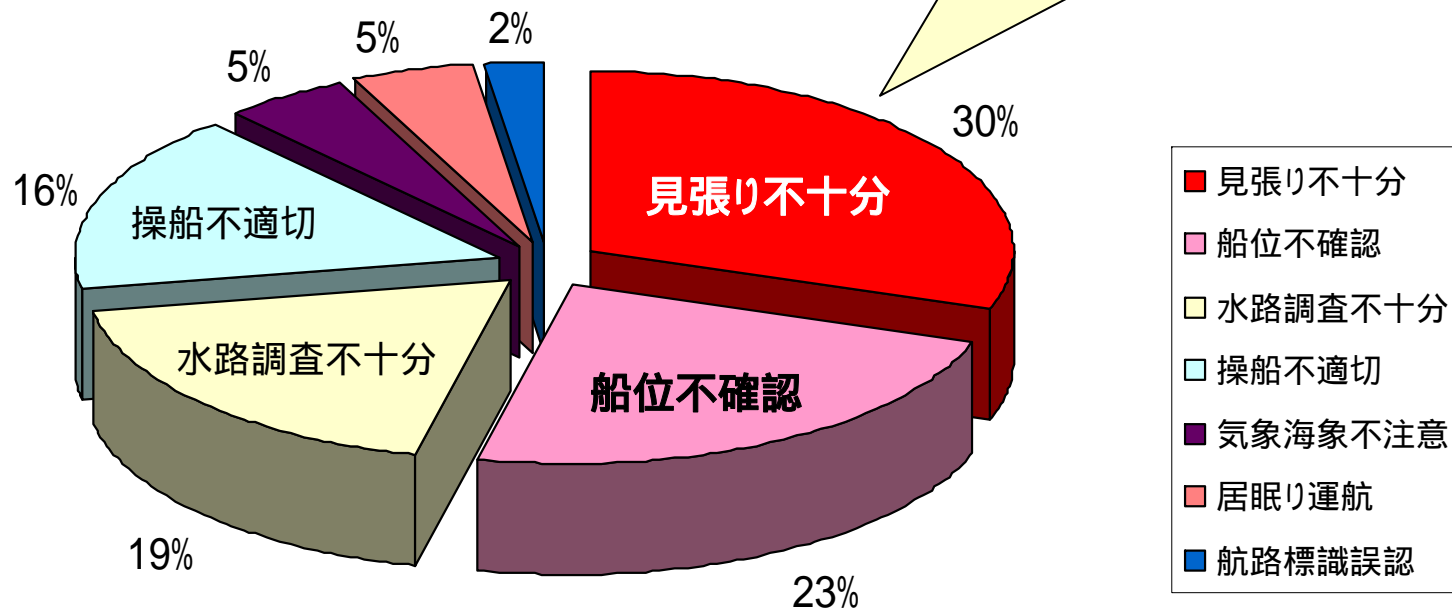
ヨット 海難種類別発生状況

ヨットでは、
“乗揚げ海難”と“機関故障海難”
が多く発生しています。

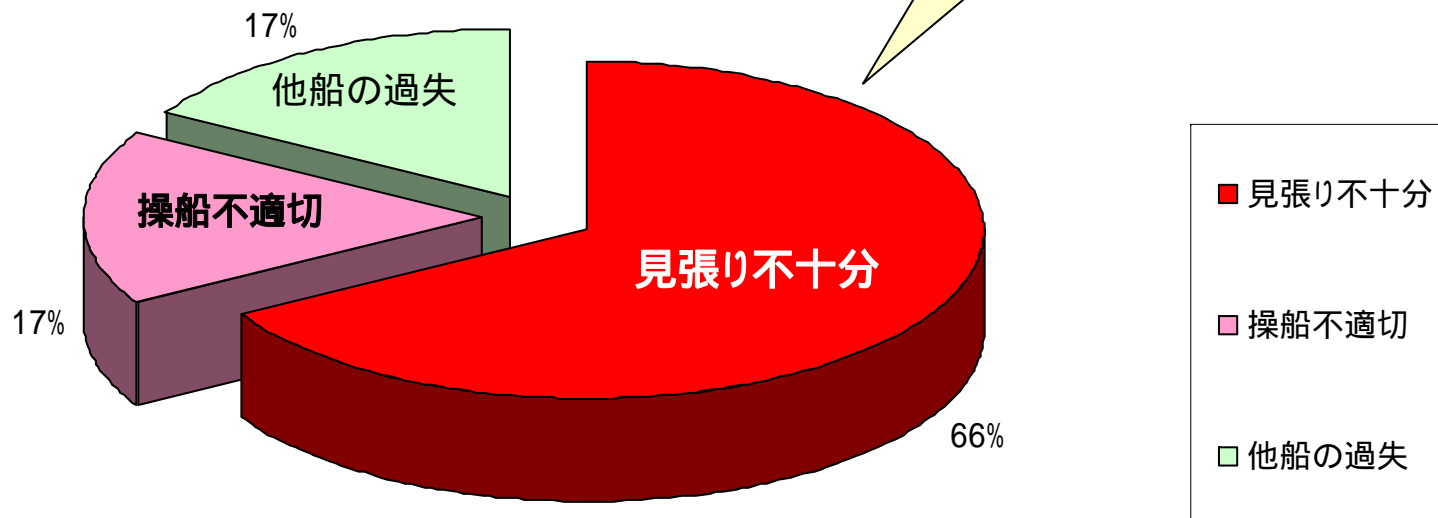


ヨット 乗揚げの原因

ヨットでは、“見張り不十分”と“船位不確認”を原因とする乗揚げ海難が多く発生しています。



ヨット 衝突の原因



ヨット海難のまとめ

見張り不十分や船位不確認による
「衝突」、「乗揚げ」海難が多発

いつも船位を
確認することが、
とても大事よ！

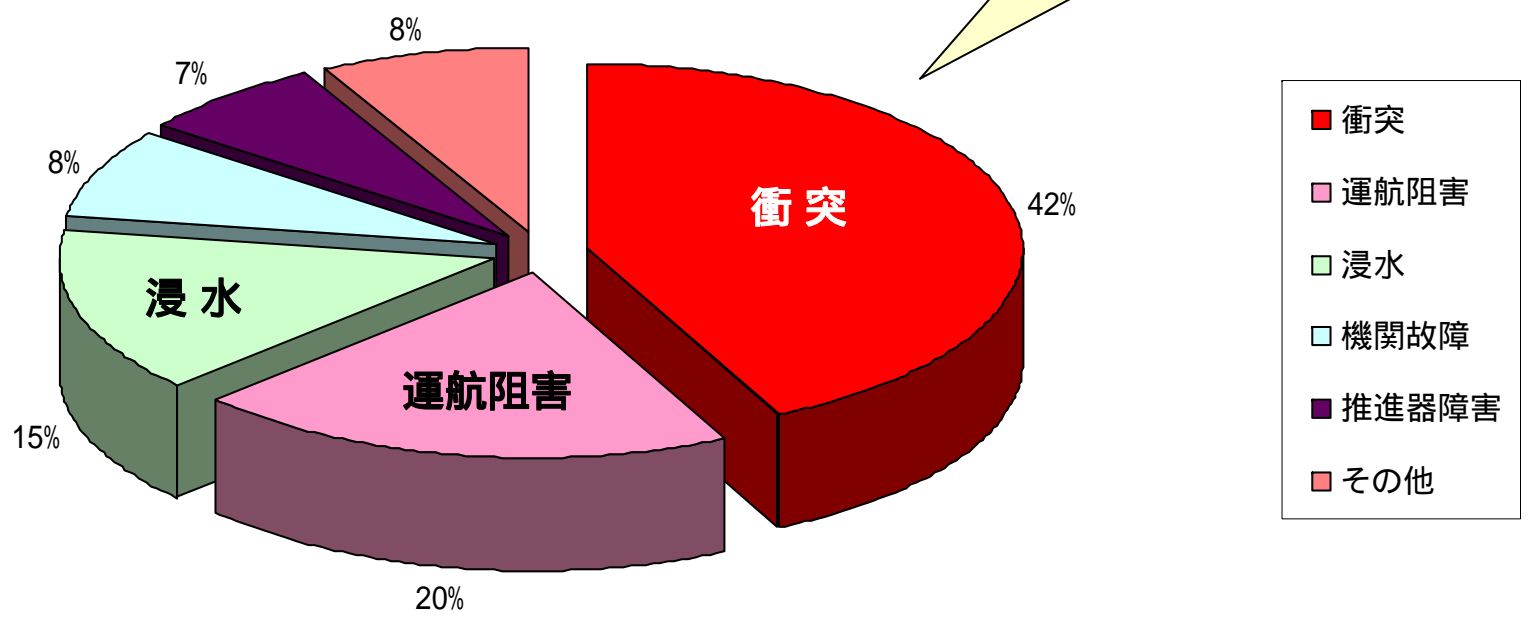
他にも船がいるから、
いつもしっかりと見張り
することがとても大切
です！

水上オートバイの海難について

- ・ 海難種類別発生状況
- ・ 衝突の原因
- ・ 衝突の典型例
- ・ 浸水の典型例
- ・ 運航障害の典型例
- ・ 水上オートバイ海難のまとめ

水上オートバイ 海難種類別発生状況

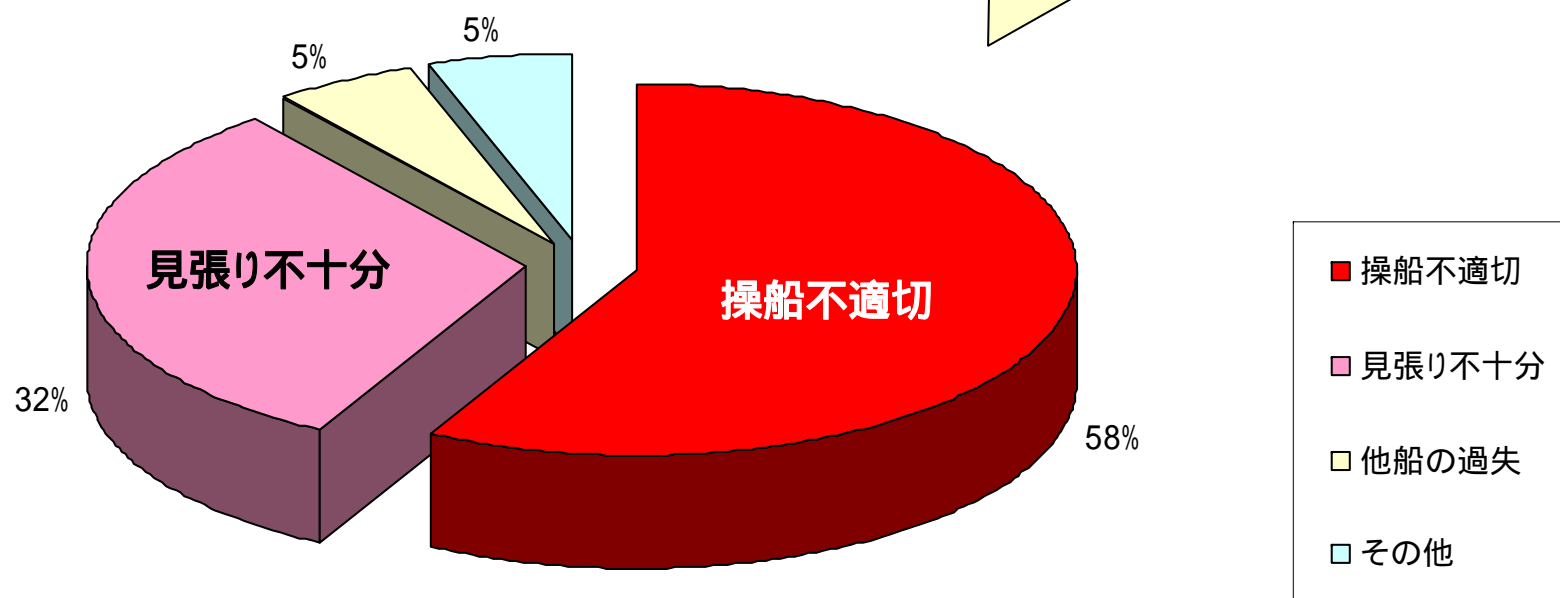
水上オートバイでは、衝突、運航阻害、浸水、の海難が多く発生しています。



「運航阻害」とは、バッテリー過放電、燃料欠乏、及び無人漂流をいいます。

水上オートバイ 衝突の原因

水上オートバイの衝突海難の8割以上が、操船不適切と見張り不十分によって発生しています。



水上オートバイ 衝突の典型例

- 前を走っていた水上オートバイが急に旋回(見張り不十分)し、後ろを走っていた水上オートバイがよけきれず(操船不適切)に衝突した。
- ふざけて仲間に高速で急接近したため、曲がりきれずに衝突した。

衝突海難38隻中34隻がこのような状況で衝突してるよ

自分の周りに注意することと、安全な距離を確保することは忘れないでね。悪ふざけもダメ！

水上オートバイ

浸水の典型例

- ・ 無謀な操船によりダイナミックに転倒し、エンジンルームに多量の海水が入った。
- ・ 転倒回数を重ねることにより、エンジンルームからの排水が追いつかなくなった。

水上オートバイ

運航阻害の典型例

- 航走可能時間を把握せずに運航を続けたため、ガス欠を起こし戻れなくなった。
- 高速で波を越える際に転落し、水上オートバイに戻れなくなった。

「運航阻害」とは、バッテリー過放電、燃料欠乏、無人漂流をいいます。

水上オートバイ海難のまとめ

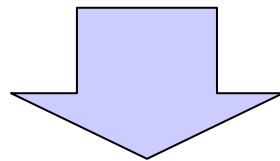
- 無謀な運航(見張り不十分と操船不適切)による衝突が多発
- 性能・特性等を十分把握していないことによる浸水や運航阻害が多い。

自分の技術、
技量を把握し
て、無茶な運
転はしないで
ね！

基本的な点検をするこ
とや自分の水上オート
バイの特性を確認して
おくことが大切だね

プレジャーボート海難のまとめ

発航前点検・整備の実施
見張りや船位確認の徹底
自己の技量・船舶特性の把握
ルールとマナーを守る



基本的事項の遵守



自己救命策の確保

海上保安庁では、大切な命を自分で守るため、そして、一人でも多くの人を救助できるよう、「自己救命策確保」を推進しています。

大切な命を自分で守る3つの基本

ライフジャケットの常時着用

もし、海中転落した場合、まず海に浮いていることが大切です。浮力を確保するには、**ライフジャケットの着用が有効**です。

携帯電話等の適切な連絡手段の確保

次に、**速やかに救助要請**することが必要です。**防水パック入り携帯電話**だと海中転落した場合でも通話が可能です。

118番の有効活用

そして、事故に遭ったとき、事故の発生を知ったときは、直ちに**118番に通報**してください。

関係救助機関と連携し、**直ちに救助に向かいます**。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/joho/tel118/index.htm>

